



口加だより

平成29年8月31日発行
長崎県立口加高等学校
第5号

あやめが丘の窓から 

百聞は一見に如かず

校長 下釜 祐保



8月下旬に全国PTA連合会大会で、濱田PTA会長とともに静岡を訪れた。天気に恵まれ、滞在した3日とも富士山を仰ぐことができた。富士山は、やはり格別だ。遠目ながらほんものを見ると何かソワソワ、ワクワクするのである。

司馬遼太郎の『竜馬がゆく』で、竜馬と藤兵衛の次のような会話のシーンがある。

「それなら旦那は、この眺望をみて、なにをお思いになりました」

「日本一の男になりたいと思った」

「旦那」と藤兵衛はむくれて「それは気のせいでございますよ」

「あたりまえだ。正気で思うものか。坂をおりればすっかり忘れてるにちがいないが、しかし一瞬でもこの絶景をみてこころのうちがわくわくする人間と、そうでない人間はちがう」

19歳の坂本龍馬が、はじめて富士を見たときのやりとりである。

8月初旬に、来年のグローバルコース語学研修の実施に向け、オーストラリアの交流候補校を視察した。はじめて見る南十字星の輝き、日本語は通じないが目を見て訴えれば片言英語ながら気持ちは通じること、交流候補校や教育省で有意義な語学研修ができることを確認して帰国した。ちょうど1年前に行なったのは、この時期の気候や現地の教育事情、行程環境などを実際に見極めるためであった。早々にコース生とその保護者への報告会を予定しているが、どんな表情で聞いてもらえるのか、楽しみである。

「百聞は一見に如かず」を実践しようと、自分の目で見て、自分の肌で感じる体験をした本校生もこの夏は多かった。上海へ、シンガポールへ、韓国へは2名、合計4名が海外研修の機会を掴み、断行した。大学や専門学校へのオープンキャンパスにも多く出かけた。竜馬と同じワクワクする心を感じたことを期待したい。

俗説によれば「百聞は一見に如かず」には“続き”があるらしい。「百見は一考に如かず」「百考は一行に如かず」…。なるほど。自己教育は「受け身より仕掛け」「より多くの細胞を使って」が鉄則なのだから。

2学期は長い。目指す丘に向かって仕掛けるには十分な時間がある。



学年だより

～第1学年より～

「ぼー」っと。

最近、いつも何かに追われ、バタバタしている。しないといけないことが山積みで、何ができていないんだろうと考える。その中で重要なことを一つあげるとすれば、それは「ぼんやり」過ごすことだと気付く。

一見、無駄な時間のようなのだが、私にとってはとても大切な時間で、頭の中がリフレッシュされ、授業のことや部活動のことなど自由な発想のもとで様々なことが浮かんでくる。この空白でない空白の時間を何とかして捻出しなければならない。

決して「ぼんやり」過ごすことを勧めているわけではない。自分にとってのリフレッシュ法を見つけたい。そして、リフレッシュできたらまた明日から頑張ろう。

(1学年主任 平山 陽一)

～第2学年より～

まず始めに、夏の三者面談へのご協力ありがとうございました。保護者の皆様からの貴重なご意見や、お子様の家庭での過ごし方・進路についての話し合いなど有意義な時間にできたことに改めて感謝いたします。私事ですが、今年の夏休みは研修続きであり生徒と接する時間が多くなかったように思います。その中で、今年も学習合宿を行い昨年よりも多くの生徒が参加し、自学を頑張っている姿を見ることができました。朝食を作った甲斐がありました。(誰か生徒が手伝ってくれるかなとちょっと期待はしていたのですが…まあ、しゃーない)保護者の方々にも夕食作りの手伝い等のご協力をしてもらいありがとうございました。

さて、夏休みも終わり、生徒たちは今、体育祭に向けて練習に励んでいるところです。ダンスや組み体操、そして除草作業(今年はなかなか手強い…)と一生懸命に頑張っています。

私といえばお盆の不摂生がたり、バテてしまう始末。ぜひ、お子様の頑張っている姿を見に来ていただければと思います。長い2学期、勉強と部活と行事とバランスを取りながら一生懸命生徒と共に頑張っていきます！

(2学年主任 松本 辰哉)

～第3学年より～

夏の代名詞「高校野球」。本校野球部の大活躍により、口加高校全体が盛り上がったことは記憶に新しいところです。甲子園でも各県代表校の選手達が連日、暑い中、はつらつとしたプレーで超満員の観客を賑わせてくれました。何故私たち観客は高校生の一球一打に心を揺さぶられるのでしょうか。それは、選手のプレー一つひとつの裏に隠されている「目を輝かせ、ひたむきに白球を追いかけて練習した姿」が容易に想像できるからだだと思います。

甲子園でキラキラと輝く野球部の生徒と同世代の君たち一人ひとりには、負けにくいくらいのバイタリティがあると確信しています。受験の天王山と言われる夏を越え、実りの秋へ。これから進路実現に向け正念場に突入します。自分に負けるな。ライバルに負けるな。私たちは、君たちの背中を押すことしかできませんが、全力で応援します。

顔晴れ、Ambitious 70th!

(3学年主任 山内 徹)

8月の行事

学習合宿レポート

3年

島原の「ホテル南風楼」にて、7月22日（土）から27日（木）の5泊6日の日程で行われました。時間を追う毎に自分の限界に向かう口加生の静かな熱意が伝わってきました。今年は、準備していた500の質問カードが足りなくなるほど、質問に積極的であったことも印象的です。1日10時間以上、総時間にして3,500分を上回る時間を勉強に費やした生徒達は、十分な達成感をその表情に浮かべ合宿を終えました。

さて、受験の夏を終えると、ついに実力が試される場面が次々とやってきます。この合宿で培った粘り強さや集中力、そして何より精神力を武器に受験本番まで貫いていって欲しいと思います。



1・2年

1, 2年生も7月下旬から8月上旬にかけ、3グループに分け、それぞれ2泊3日の学習合宿を本校青雲寮にて実施しました。長時間学習への体力や精神力を養うこと、苦手科目の克服や得意科目の更なる伸張などを目標に1300分にも及ぶ学習に取り組みました。普段とは異なる環境の中、どの生徒も真剣な表情で取り組んでいました。夕食では母親委員会をはじめ保護者のご協力の下、カレーライス等を美味しくいただき、学習への活力としていました。合宿を通じて寝食を共にすることで、友人、先生方との理解をより深めることもできました。



今月の生活創造コース

1日（火）オープンスクール：生活創造コース紹介（2年生）

生活創造コースの授業や活動についての紹介を行いました。

3日（木）・4日（金）第65回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会（長崎大会）

長崎ブリックホールで行われた全国大会に、3年生2名（志方圭華さん・松尾美咲さん）が参加しました。志方さんは、全国生徒書記として、役員会と総会で議事録の確認を行いました。また、2人とも島原地区が担当する生徒交流会において、係生徒として様々なお世話をしました。

昨年度から様々な準備と練習を重ねてきましたが、その成果を十分発揮することができました。



5日（土）口之津図書館お話し会ボランティア（2年生）

今月のグローバルコース

7月24日（月）ガイヒーリージャパンのTEFLプログラムを利用し、8名の外国人学生を本校に招き、英会話やディスカッション、英語でのプレゼンテーション技法などを学びました。伝えたいという思いが少しずつ表に出てきているようで、積極性が増したように感じました。また、7月26日（水）には南島原市第Ⅱ期総合計画策定について、市職員の方々とグループワークを、8月9日（水）には韓国の青少年連盟114名と交流会を実施しました。総合計画策定では、松本市長も来校され、活動に激励をくださり、地元に対する自分たちの思いや考えをまとめました。青少年連盟との交流会では、折り紙を通じた文化交流などで、互いの国民性の理解に努めました。



オープンスクール

8月1日（火）、平成29年度のオープンスクールを開催しました。

今年も100名を超える中学生が参加し、数学科のボイスアクティブラーニングや英語科のEZ教室体験、国語・理科・社会・音楽・体育の授業を体験しました。在校生は、進行や運営、各会場の設営、部活動など全校体制で取り組み、後輩として迎えようと懸命に頑張りました。



平和学習

8月9日（水）、平和学習が実施されました。今年校長先生からの「命の講話」のあと、長崎平和推進協議会の池田松義様をお招きし、実際に原爆を体験された話を伺いました。このような経験は初めてという生徒も多く、生徒たちも戦争や原爆の恐ろしさを知り、これからの平和な社会について考える貴重な機会となりました。



職員ペンリしー

数学科 山本 将平

大学時代、様々なアルバイトを経験した。中でも特に印象に残っているのが、「歌声喫茶」でのアルバイトだ。歌声喫茶というのは、お客さんがご飯を食べたりお酒を飲んだりしながら、司会者が選曲した曲を、生演奏でみんなで歌うという、かなり特殊な喫茶店だ。テレビで特集されているのを見て面白そうだと思う、さっそく次の日にお店に行き、働かせてもらうことになった。そこで司会もさせてもらい、人前に立つことが苦手な自分を少しずつ変えることができた。また、お客さんが本気で楽しんでいる姿を見て、何事も全力でやった方がカッコいいと思った。この経験があったから、今の自分があると思う。生徒のみなさんにも、今の環境を全力で楽しんでほしいと思っている。